

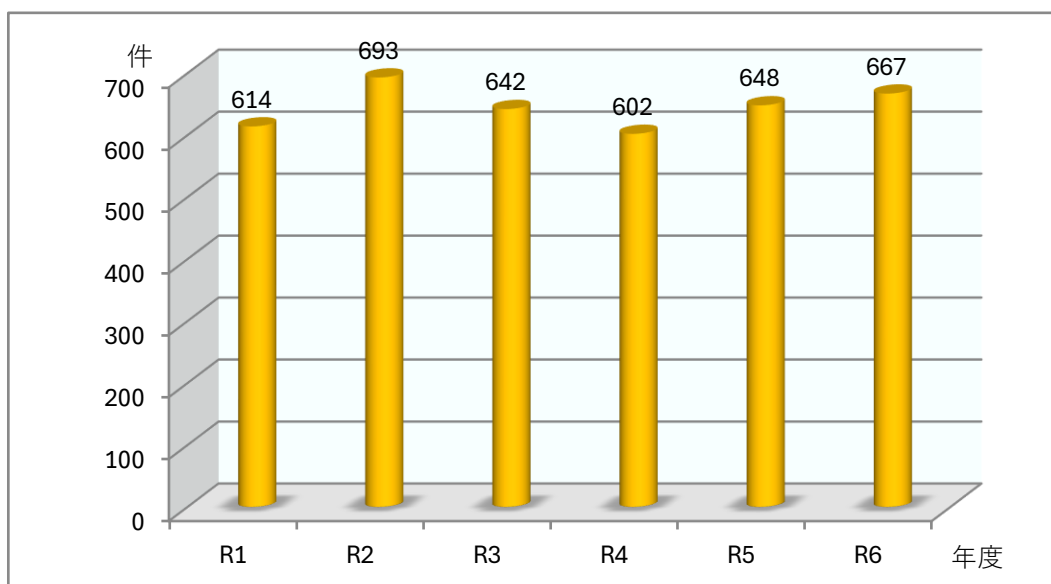
18 術中迅速病理組織診断件数

解説

術前診断の難しい疾患においては、手術中の病理診断に基づいて手術方法や手術範囲が選択されます。手術中という限られた時間の中で、迅速かつ正確な病理診断をおこなうには、院内の体制作りが重要です。

通常の細胞診や組織診であれば、院外への外注も可能ですが、術中迅速診断は一刻を争うものであり、切片の用意から診断まで院内で完結する必要があります。「最後の砦」機能を持つ国立大学病院として、高度な医療が総合的に提供されることを示す指標です。

実績



自己点検評価

例年から大きな動きはありません。

定義

医科診療報酬点数表における、「N003 術中迅速病理組織標本作製(T-M/OP), N003-2術中迅速細胞診」の算定件数。レセプト算定ベースで算出しています。

算式

実数